(受講申込書式1)

2024 年度 登録計装基幹技能者 認定講習

写真貼付位置 ①申込本人のみ (カラーふちなし) ②6ヶ月以内に撮影 ③縦 3.0cm 横 2.4cm

受講(受験)申込書

年

月

日

③縦 3.0cm ※免許証	II	整理番号
④正面·無帽 ⑤裏面に氏	l·無背景	受講番号
生年月日		修了証番号
	フリガナ	性 別 口 男 口 女
	氏 名	生 年 月 日 □ 昭和 □ 平成 年 月 日 日
受講者	現住所	〒 - 都道府県
	市町村番地	
	建物名称部屋番号	電話番号 ※携帯電話など日中連絡がとれる番号
	フリガナ	フリガナ
	会 社 名	支社・支店
勤務先	所 在 地	〒 - 都道府県
	市町村番地	
	建物名称	電 話 番 号
連絡先	メール	※常に連絡が取れるアドレスを記入
取得して	を満たす条件 いる資格等に れて下さい	□ (ア) 2級計装士 □ (イ) 2級施工管理技士(電気工事、管工事又は電気通信工事) □ (ウ)以下の①から③のすべてを満たすもの ①以下の3資格のうち、いずれか1資格を有する □ 第一種電気工事士(試験合格) □ 1級配管技能士 □ 1級情報配線施工技能士 ②以下の4資格のうち、いずれか3資格以上を有する □ 高所作業車運転技能講習又は特別教育 □ 足場の組立て等作業主任者又は作業従事者特別教育 □ 小型移動式クレーン運転技能講習又は特別教育 □ 衛気取扱業務(低圧)特別教育 □ 電気取扱業務(低圧)特別教育 □ 電気取扱業務(低圧)特別教育 □ 正掛け技能講習又は特別教育 □ 正掛け技能講習又は特別教育 □ 研削といしの取替え業務の特別教育 □ 耐といしの取替え業務の特別教育 □ 耐といしの取替え業務の特別教育 □ 対ス溶接技能講習又はアーク溶接特別教育 □ 特定粉じん作業特別教育
由語する	建設業の種類	□ 電気工事業 □ 管工事業 □ 機械器具設置工事業 □ 電気通信工事業 実務経験 年 実務経験 年 実務経験 年 実務経験 年
Тин У	んな人で住場	職長 年職長 年職長 年職長 年
希望	会 場	□ 仙台会場 □ 東京会場 □ 名古屋会場場 □ 大阪会場 □ 福岡会場

【記入上の注意】

- 1. 受講票は受講者が受講(受験)申込書に記載した現住所に届きます。
- 2. 講習会の希望会場を一つ選択してレ点を記入して下さい。
- 3. 申請する建設業の種類にレ点を記入して下さい。該当の建設業の現場施工業務に従事した実務経験 年数の合計と、うち職長として従事した経験年数の合計を記入して下さい (別紙の業種ごとの実務経 験年数と一致)。実務経験は10年以上であること。職長年数は、労働安全衛生法第60条に定める 建設業の職長教育修了後の現場施工業務に職長として従事した年数の合計が3年以上であること。

実務経験証明書

(枚目中の 1 枚目)

月

年

電気工事業に係る受講申込者の実務経験の内容は、下記のとおりであることを証明します。

証明者住所

所属企業名

証明者氏名

証明者印

Н

									•		, •	• •
	受講申記	込者の氏名				証明者との	関係					
	所属	企業名				生年月日			昭和		平成	
		正未石							年		月	日
実務経験年数合計 電気工事業 年				ヶ月 (・	うち職	長経騎	È	年		ヶ月)		
	職長欄		工	事名称		作業内容	実	務経験	年数(四	5暦・≟	半角で記	!入)
								年	月~		年	月
									(午	4月)

職長欄	工事名称	作業内容	実務経験	経験年数(西暦・半角で記入)				
			年	月~	年	月		
				(年	ヶ月)		
			年	月~	年	月		
				(年	ヶ月)		
			年	月~	年	月		
				(年	ヶ月)		
			年	月~	年	月		
				(年	ヶ月)		
			年	月~	年	月		
				(年	ヶ月)		
			年	月~	年	月		
				(年	ヶ月)		
			年	月~	年	月		
				(年	ヶ月)		
			年	月~	年	月		
				(年	ヶ月)		
			年	月~	年	月		
				(年	ヶ月)		
			年	月~	年	月		
				(年	ヶ月)		

◆記入上の注意

- 1. 実務経験の証明者は、原則として代表取締役等の代表者となります。また、受験申請者に対して人事権を有する方(所属部署の部門長、人事部長など)も認められます。
- 2. 実務経験が10年未満、または職長経験が3年未満の業種は記入しないで下さい。 (書式1で選択した建設業の種類の工事のみ記入)
- 3. 職長として従事した工事は、職長欄に「職長」と記入して下さい。
- 4.1枚に納まらない場合は、2枚目の様式を複数枚使用して下さい。その場合、経験年数の合計年、及び証明者の署名捺印は最初の用紙に、受講申込者の氏名は全ての用紙に記入して下さい。
- ◆申請者(受講者)本人が事業主の場合は、誓約書欄に署名(自筆)、捺印をして下さい。

【誓約書】

氏	名	:	印
---	---	---	---

電気工事業に係る受講申込者の実務経験

職長欄	 作業内容	実務経験	年数 (西層	・半角で	· 記入)
		年	月~	年	月
			(年	ヶ月)
		年	月~	年	月
			(年	ヶ月)
		年	月 ~	年	月日、
		<i>F</i>	(年	ヶ月)
		年	月~	年年	月
		年	月~	<u>+</u> 年	<u>ヶ月)</u> 月
		—)1	年	
		年	月~	 年	<u>ヶ月)</u> 月
		•	(年	ヶ月)
		年	月~	年	月
			(年	<u>ヶ月)</u> 月
		年	月~	年	月
			(年	<u>ヶ月)</u> 月
		年	月~	年	月日、
		F	(年	ヶ月) 月
		年	月~	年	
		年	月~	<u>年</u> 年	<u>ヶ月)</u> 月
		+)1 -	年	
		年	月~	 年	<u>ヶ月)</u> 月
		·	(年	ヶ月)
		年	月~	年	月
			(年	ヶ月)
		年	月 ~	年	月
		h	(年	ヶ月)
		年	月~	年年	月 ヶ月)
		年	月~	<u>- 平</u> 年	<u> </u>
		+	73, -	年	刀 ヶ月)
		年	月~	 年	ヶ月) 月
			(年	ヶ月)
		年	月~	年	月
			(年	ヶ月)
		年	月~	年	月 ヶ月)
			(年	<u> ヶ月)</u>
		年	月~	年	月
		年	(月~	<u>年</u> 年	<u>ヶ月)</u> 月
		干	л~ (年年	月 ヶ月)
		年	月~	<u>+</u> 年	<u> </u>
		干	/1	年	/1 ヶ月)
		年	月~	年	<u>ヶ月)</u> 月
		·	(年	ヶ月)

実務経験証明書

(枚目中の 1 枚目)

管工事業に係る受講申込者の実務経験の内容は、下記のとおりであることを証明します。

証明者住所

所属企業名

証明者氏名

証明者印

					年		月	日
受講申込者の氏名			証明者との関係					
所属企業名			生年月日		昭和 年		平成 月	日
実務経験	年数合計 管工事業	年	ヶ月(うち職	長経験	,	年		ヶ月)

職長欄 工事名称 作業内容 実務経験年数(西暦・半角で記入) 月~ 年 月 年 ヶ月) 月~ 年 年 月 ヶ月) 年 年 月 年 ヶ月) 月~ 年 年 月 年 ヶ月) 年 月 年 ヶ月) 年 年 月 年 ヶ月) 年 年 月 年 ヶ月) <u>月~</u> 年 年 月 年 ヶ月) 年 月~ 年 月 年 ヶ月) 月~ 年 年 月 年 ヶ月)

◆記入上の注意

- 1. 実務経験の証明者は、原則として代表取締役等の代表者となります。また、受験申請者に対して人事権を有する方(所属部署の部門長、人事部長など)も認められます。
- 2. 実務経験が10年未満、または職長経験が3年未満の業種は記入しないで下さい。 (書式1で選択した建設業の種類の工事のみ記入)
- 3. 職長として従事した工事は、職長欄に「職長」と記入して下さい。
- 4.1枚に納まらない場合は、2枚目の様式を複数枚使用して下さい。その場合、経験年数の合計年、及び証明者の署名捺印は最初の用紙に、受講申込者の氏名は全ての用紙に記入して下さい。
- ◆申請者(受講者)本人が事業主の場合は、誓約書欄に署名(自筆)、捺印をして下さい。

【誓約書】

氏 名 :	印
-------	---

管工事業に係る受講申込者の実務経験

職長欄	工事名称	作業内容	実務経験	年数(西暦	·半角で	·記入)
			年	月~	年	月
				(年	ヶ月)
			年	月~	年	月
				(年	ヶ月)
			年	月~	年	月
				(年	ヶ月)
			年	月~	年	月
			 年	月~	<u>年</u> 年	<u>ヶ月)</u> 月
			4	Д· С	年	カ ヶ月)
			年	月~	 年	<u></u>
			'	/ (年	ヶ月)
			年	月~	 年	月
<u></u>				(年	ヶ月)
			年	月~	年	月
				(年	<u>ヶ月)</u> 月
			年	月~	年	
			F	(年	<u>ヶ月)</u> 月
			年	月~	年年	
			 年	月~	<u>年</u> 年	<u>ヶ月)</u> 月
			+)1 -	年	/1 ヶ月)
			年	月~	 年	<u>ヶ月)</u> 月
			·	(年	ヶ月)
			年	月~	年	<u>ヶ月)</u> 月
				(年	ヶ月)
			年	月 ~	年	月
				(年	ヶ月)
			年	月~	年年	月
			 年	月~	 年	<u>ヶ月)</u> 日
				/1	年	/] ヶ月)
			年	月~	 年	月 ヶ月) 月
				(年	ヶ月)
			年	月~	年	ヶ月) 月
				(年	ヶ月)
			年	月 ~	年	月
			<u></u>	(年	<u>ヶ月)</u> 月
			年	月~	年	月,口、
			 年	(月~	<u>年</u> 年	<u>ヶ月)</u> 月
			+	77.	年年	月 ヶ月)
			年	月~	 年	<u> </u>
			1	(年	/1 ヶ月)
			年	月~	年	月
				(年	ヶ月)

受講申込者の氏名

実務経験証明書

証明者との関係

(枚目中の 1 枚目)

月

年

月~

月~

年

年

年

年

年

月

月

ヶ月)

ヶ月)

機械器具設置工事業に係る受講申込者の実務経験の内容は、下記のとおりであることを証明します。

証明者住所

所属企業名

証明者氏名

証明者印

H

	↑ ₩ 夕		業名		н		昭和		平成	
所 属	企業名			生 年 月	П		年		月	日
実務経騎	6年数合計	機械器具設置工事業	年	ヶ月(き	うち職	長経縣	É	年		ヶ月)
職長欄		工事名称		作業内容	実	務経験	6年数(西	5暦・	角で記	己入)
						年	月~		年	月
							(年	ヶ月)
						年	月~		年	月
							(年	ヶ月)
						年	月~		年	月
							(年	ヶ月)
						年	月~		年	月
							(年	ヶ月)
						年	月~		年	月
							(年	ヶ月)
						年	月~		年	月
							(年	ヶ月)
						年	月~		年	月
							(年	ヶ月)
						年	月~		年	月
							(年	ヶ月)

◆記入上の注意

- 1. 実務経験の証明者は、原則として代表取締役等の代表者となります。また、受験申請者に対して人事権を有する方(所属部署の部門長、人事部長など)も認められます。
- 2. 実務経験が10年未満、または職長経験が3年未満の業種は記入しないで下さい。 (書式1で選択した建設業の種類の工事のみ記入)
- 3. 職長として従事した工事は、職長欄に「職長」と記入して下さい。
- 4.1枚に納まらない場合は、2枚目の様式を複数枚使用して下さい。その場合、経験年数の合計年、及び証明者の署名捺印は最初の用紙に、受講申込者の氏名は全ての用紙に記入して下さい。
- ◆申請者(受講者)本人が事業主の場合は、誓約書欄に署名(自筆)、捺印をして下さい。

【誓約書】

氏 名 :	印
-------	---

機械器具設置工事業に係る受講申込者の実務経験

職長欄	工事名称	作業内容	実務経験	年数(西暦	·半角で	·記入)
			年	月~	年	月
				(年	ヶ月)
			年	月~	年	月
				(年	ヶ月)
			年	月~	年	月
				(年	ヶ月)
			年	月~	年	月
			 年	月~	<u>年</u> 年	<u>ヶ月)</u> 月
			4	Д· С	年	カ ヶ月)
			年	月~	 年	<u></u>
			'	/,	年	ヶ月)
			年	月~	 年	月
<u></u>				(年	ヶ月)
			年	月~	年	月
				(年	<u>ヶ月)</u> 月
			年	月~	年	
			F	(年	<u>ヶ月)</u> 月
			年	月~	年年	
			 年	月~	<u>年</u> 年	<u>ヶ月)</u> 月
			+)1 -	年	/1 ヶ月)
			年	月~	 年	<u>ヶ月)</u> 月
			·	(年	ヶ月)
			年	月~	年	<u>ヶ月)</u> 月
				(年	ヶ月)
			年	月 ~	年	月
				(年	ヶ月)
			年	月~	年年	月
			 年	月~	 年	<u>ヶ月)</u> 日
				/1	年	/] ヶ月)
			年	月~	 年	月 ヶ月) 月
				(年	ヶ月)
			年	月~	年	ヶ月) 月
				(年	ヶ月)
			年	月 ~	年	月
			<u></u>	(年	<u>ヶ月)</u> 月
			年	月~	年	月,口、
			 年	(月~	<u>年</u> 年	<u>ヶ月)</u> 月
			+	77.	年年	月 ヶ月)
			年	月~	 年	<u> </u>
			1	(年	/1 ヶ月)
			年	月~	年	月
				(年	ヶ月)

実務経験証明書

(枚目中の 1 枚目)

月

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

年

ヶ月)

ヶ月)

ヶ月)

ヶ月)

ヶ月)

ヶ月)

月

月

月

月

月

年

年

年

年

年

年

月~

月~

<u>月~</u>

月~

月~

電気通信工事業に係る受講申込者の実務経験の内容は、下記のとおりであることを証明します。

証明者住所

所属企業名

証明者氏名

証明者印

H

受講申記	込者の氏名			証明者との	関係				
所属	企業名			生年月	П		昭和	□ 1	龙成
	止 未 右			工千万	Н		年	,	月 日
実務	経験年数合	計電気通信工事業	年	ヶ月 (·	うち職	長経騎	È	年	ヶ月)
職長欄		工事名称		作業内容	実	務経験	年数(西	酒• 半角	で記入)
						年	月~	年	月
							(年	ヶ月)
						年	月~	年	月
							(年	ヶ月)
						年	月~	年	月
							(年	ヶ月)
						年	月~	年	月
							(年	ヶ月)
						年	月~	年	月

◆記入上の注意

- 1. 実務経験の証明者は、原則として代表取締役等の代表者となります。また、受験申請者に対して人事権を有する方(所属部署の部門長、人事部長など)も認められます。
- 2. 実務経験が10年未満、または職長経験が3年未満の業種は記入しないで下さい。 (書式1で選択した建設業の種類の工事のみ記入)
- 3. 職長として従事した工事は、職長欄に「職長」と記入して下さい。
- 4.1枚に納まらない場合は、2枚目の様式を複数枚使用して下さい。その場合、経験年数の合計年、及び証明者の署名捺印は最初の用紙に、受講申込者の氏名は全ての用紙に記入して下さい。
- ◆申請者(受講者)本人が事業主の場合は、誓約書欄に署名(自筆)、捺印をして下さい。

【誓約書】

氏	名	:	印
---	---	---	---

電気通信工事業に係る受講申込者の実務経験

職長欄	 作業内容	実務経験	年数 (西層	・半角で	· 記入)
		年	月~	年	月
			(年	ヶ月)
		年	月~	年	月
			(年	ヶ月)
		年	月 ~	年	月日、
		<i>h</i> -	(年	ヶ月)
		年	月~	年年	月
		年	月~	<u>+</u> 年	<u>ヶ月)</u> 月
)1	年	
		年	月~	 年	<u>ヶ月)</u> 月
		'	(年	ヶ月)
		年	月~	年	月
			(年	<u>ヶ月)</u> 月
		年	月~	年	月 一
				年	<u>ヶ月)</u> 月
		年	月~	年	月日、
		<i>F</i> −	(年	ヶ月) 月
		年	月~	年	
		年	月~	<u>年</u> 年	<u>ヶ月)</u> 月
		7)1 -	年	
		年	月~	 年	<u>ヶ月)</u> 月
		·	(年	ヶ月)
		年	月~	年	月
			(年	ヶ月)
		年	月~	年	月
		<u></u>	(年	ヶ月)
		年	月~	年年	月 ヶ月)
		年	月~	<u>- 平</u> 年	<u> </u>
		7)1 -	年	/] ヶ月)
		年	月~	 年	ヶ月) 月
			(年	ヶ月)
		年	月~	年	月
			(年	ヶ月)
		年	月~	年	月 ヶ月)
			(年	<u> ヶ月)</u>
		年	月~	年	月
		年	(月~	<u>年</u> 年	<u>ヶ月)</u> 月
		+	77.	年	月 ヶ月)
		年	月~	<u>+</u> 年	月
		1	(年	/ ヶ月)
		年	月~	年	<u>ヶ月)</u> 月
		· 	(年	ヶ月)

資格等の証明

資格等証明書の貼付欄

受講申込書の受講資格を満たす要件でチェックを入れた資格等の証明書を縮小コピーして貼り付けて下さい。

貼付欄に収まらない場合は、この様式を複数枚使って下さい。

【注意事項】

- ① 第一種電気工事士(試験合格)の方は、試験結果通知書(合格)を貼付して下さい。 なお、第一種電気工事士免状の方は、写真・登録番号・(5年更新を受けている方は)定期講 習受講印が押印されているところまで全てコピーして貼付して下さい。
- ② 2級計装士(又は1級計装士)の方は、写真・登録番号・(5年更新を受けている方は)定期 講習受講印が押印されているところまで全てコピーして貼付して下さい。
- ③ 2級施工管理技士(又は1級施工管理技士)の方は、合格証明書をコピーして貼付して下さい。

(登録番号・交付年月日・氏名・生年月日が判読できること)

資格等の証明

職長教育修了証(写し)貼付欄

受講者名・受講日が分かるもの、及び労働安全衛生法による建設業の職長 教育であることを証明できるものを縮小コピーして貼り付けて下さい。 貼付欄に収まらない場合は、この様式を複数枚使って下さい。

【注意事項】

- ① 職長教育修了証は交付日から講習申込日までに3年以上が必要
- ② 職長のための「リスクアセスメント教育」だけでは不可
- ③ 安全衛生責任者教育修了証だけでは不可
- ④ 労働安全衛生法第60条によるもの、又は労働安全衛生法施行規則第40条によるもの (12時間講習)は認められる。この記載が無い場合は、発行元に建設業の職長教育である 内容の証明書を発行してもらい貼付して下さい。

これができない場合は、職長教育修了証を貼付し、発行元に建設業の職長教育を確認したこと、及び確認日を余白に記入して下さい。

受講料払込の証明

受講料振込み証明書貼付欄

取扱金融機関で受講料の払込を済ませた受取書の写しを 全面のり付けし、貼り付けて下さい。

受講料は 34,500円(税込み)です。

◆振込み先

受講料は、次の口座にお振込み下さい。

金融機関	みずほ銀行(銀行コード:0001)		
店 名	新橋支店 (店番:130)		
預金種類	普通預金		
口座番号	0 9 9 9 1 4 2		
口 座 名 一般社団法人日本計装工業会			
フリガナ イッパ ンシャダ ンホウシ ンニホンケイソウコウギ ョウカイ			

※振込み手数料は受講者がご負担下さい。

◆返金口座

受講料を返金する時のため、お取引銀行(返金口座)を必ずご記入下さい。

金融機関	銀行 (銀行コード:
店 名	支店 (店 番:)
預金種類	
口座番号	
口座名義	
フリガナ	

(受講申込書式5) 2024年度 登録計装基幹技能者 認定講習

受講受付票

④正面・無帽 ⑤裏面に氏名 生年月日を	4 と		フ	IJ	ガ	ナ					
			氏			名					
			生	年	月	日		昭和 年		平成 月	日
《在席》	状況						_				
			1日	目					2	日目	
	受講	受付	,					受講	受付		
	午	前						午	前		
	午	後						午	後		
《通信相 ————————————————————————————————————		会场(クダヤ	可徐 !	ラン・、	化 隔	状 次。	金確認して		(記入しま	9 0

【記入上の注意】

- 1. 太枠線内に、氏名、フリガナ、生年月日を記入して下さい。
- 2. 写真は受講申込書(書式1)と同じ写真を貼付して下さい。
- 3. ※マークのある「受講番号」「在席状況」「通信欄」は、記入しないで下さい。

登録基幹技能者データベースの情報公開に係る同意書

登録基幹技能者データベースについて

登録計装基幹技能者講習を受講し認定試験に合格し、登録計装基幹技能者となられた方については、 一般財団法人建設業振興基金が管理運営する登録基幹技能者データベースにご自身の情報が登録されます。

また、発注者(公共機関等)や総合建設業者等に対する登録基幹技能者のPR及び活用促進を目的に、有資格者を「登録基幹技能者データベース」のホームページにて照会しております。

【公開する情報】

必須項目・・・氏名(フリガナを含む)、年齢、企業名、企業所在地(都道府県まで)、 修了証番号、修了年月日、更新回数

任意項目・・・ご希望による拡張公開情報(日本計装工業会と打合せが必要です。) 登録者自身の写真、実務経験、取得資格や表彰歴、PRコメント等詳細な自己PR

登録基幹技能者データベースでご自身の情報を公開することについて、以下についてご選択ください。

- 必須項目及び任意項目とも、ご同意頂ける場合には「同意する(必須項目及び任意項目)」
- 必須項目のみ、ご同意頂ける場合には「同意する(必須項目)」
- すべての項目について、ご同意頂けない場合には、「同意しない」 のいずれかを○で囲み、署名(自筆)をお願いいたします。

なお、ご同意頂けない場合は本データベースにおいて、情報の登録・管理するのみとし、情報の 公開はいたしません。

また、試験の結果不合格になった場合この署名は無効になります。

私は今回の登録計装基幹技能者講習を受講し認定試験に合格し、一般財団法人建設業振興基金が管理運営する「登録基幹技能者データベース」に登録する情報を公開することについて

- 同意します(必須項目及び任意項目を公開)
- 同意します(必須項目を公開)
- 同意しません

令和	年	月	E

氏 名:

宛名用紙

下記の宛名用紙を切り取り、差出人の住所・氏名・連絡先電話番号を明記して、 A 4 サイズが折らずに入る大きさの封筒 (角型 2 号) に貼付したうえ、郵便局の 窓口より簡易書留で送付して下さい。

	≫切り取り線	
	1 0 1 - 0	0 3 1
基幹技能者認定講習 受講申込書在中簡易書留	一般社団法人 日本計装工業会 行	東京都千代田区東神田二丁目4番5号
差出人		
住 所		
氏 名		
電話番号		